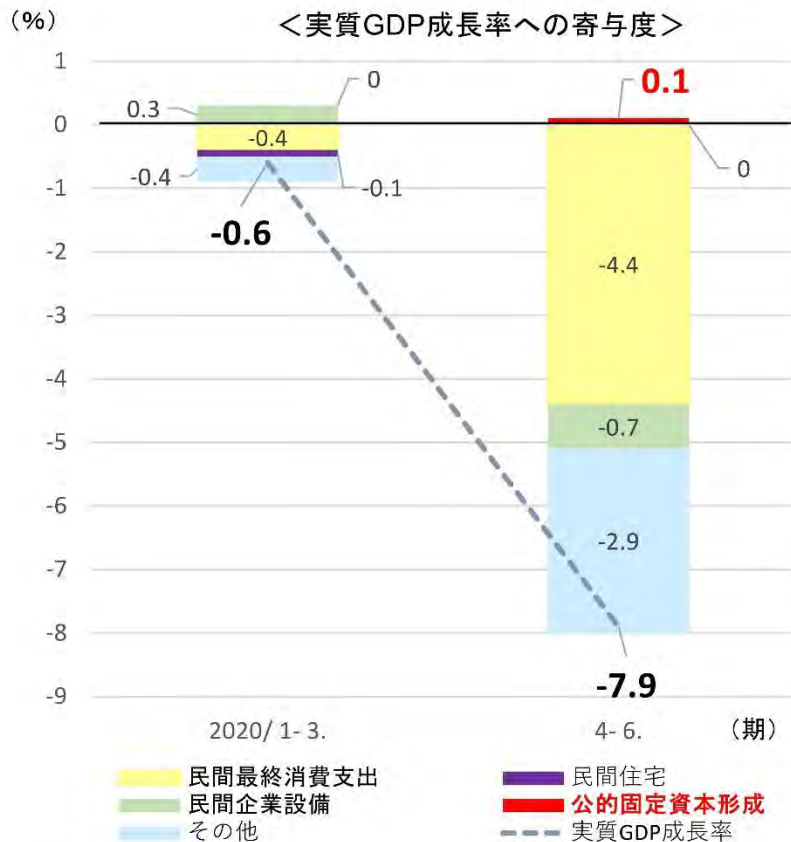


本日のテーマ(JFMAから)

自立的な地域社会やレジリエンスを
妨げる社会構造

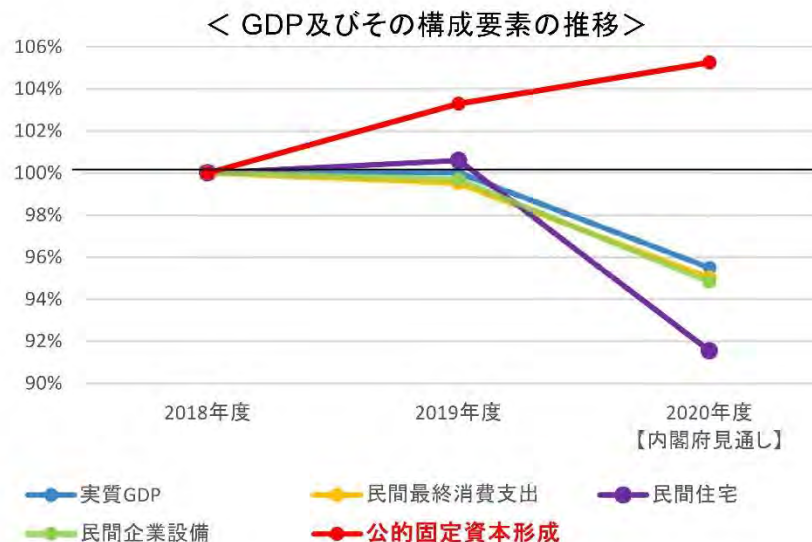
コロナの課題は何か、
コロナ禍でのFM対応

○コロナの影響等により足下で民間投資等が減退する中、**公共投資が我が国の経済を下支え**。
 ○今年度を通じて、**民間住宅をはじめ、民間投資が大幅に落ち込む見込み**。



＜実質GDP及びその構成要素の対前年度比＞

(%)	2019年度	2020年度 【内閣府見通し】
実質GDP	0.0	▲ 4.5
民間最終消費支出	▲ 0.5	▲ 4.5
民間住宅	0.6	▲ 9.0
民間企業設備	▲ 0.3	▲ 4.9
公的固定資本形成	3.3	1.9



(注)「その他」は民間在庫変動、政府最終消費、公的在庫変動、純輸出。
 (出典)内閣府「四半期別GDP速報」(2020年4-6月期2次速報値)

(注)上記表の数値を用いて、2018年度=1としたもの。
 (出典)内閣府「四半期別GDP速報」(2020年4-6月期2次速報値)及び「政府経済見通し」(年央試算、令和2年7月30日発表)

コロナの明らかにしたもので
アンタッチャブルなもの



夜のまち

誰も具体の解決策を示せず！
ステイクホルダーを調整する機能の不在

ナイトタイムエコノミー(夜の経済)

- ・イギリスではGDPの約6%がナイトタイム関連
 - 我が国当てはめると約80兆円※新経済連盟試算
- ・訪日外国人旅行消費額(4兆5000億)のうち娯楽関連消費はたった4%
 - 夜の観光資源が乏しい

一方で、昼間にないトラブル

- 治安上(酩酊者、騒乱、けんか、ドラッグ)
- 衛生上(嘔吐物、ゴミ 等)

＋感染症対策

ナイトメイヤー(Night Mayor:夜の市長)

- ・オランダ アムステルダム発祥
- ・静かな夜を過ごしたいVSナイトタイムを楽しみたい



ステークスホルダー間を調整

- ・2014年に投票により選出

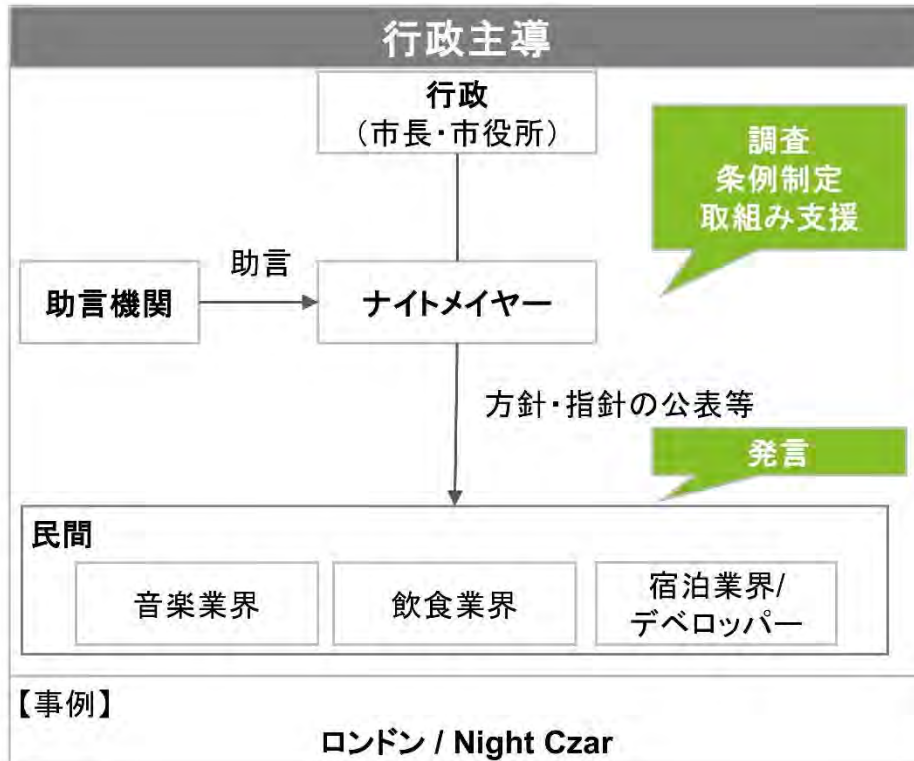
※給料は市と経営者の折半

ナイトタイムエコノミ-の正と負の両面を担う
ファシリティマネージメントの一形態？

- クラブ等は朝4時までの営業時間
 - 追い出された客が騒ぐ、トラブル
 - 朝7時まで営業時間を延ばす
 - 騒がしい客を中にとどめる
 - いくつかクラブは、昼に児童の遊びとして開放
 - 近所が存在を認知
- 夜間のパトロール隊を組織
- 夜間の環境改善
 - 図書館の24時間化
 - 飲食店の夜間営業
- 数々のイベントの開催

6. 推進の仕組み 推進体制の整備(1/6)

- 海外都市の先進事例では、ナイトタイムエコノミーを行政が主導するパターン、または民間が主導するパターンの大きく2パターンに分けられる



【特徴】

長所: 行政の対応が必要な手続き緩和等がスムーズに行われる
短所: 民間の意向が政策に反映されにくい



【特徴】

長所: 民間の意見を集約し、提言としてまとめやすい
短所: ナイトメイヤーに権限がなく、官側の行動につながりにくい

出所: 「MD2023」、「MD1610」(Greater London Authority)、「About the Night Mayor of Amsterdam」(Nacht Burgemeester Amsterdam)、ヒアリングを基に作成

6. 推進の仕組み

推進体制の整備(4/6)-民間主導の推進体制(アムステルダムの事例)

- アムステルダムにおけるナイトメイヤーは**rebel in a suit**(スーツを着た反逆者)を自認し、ナイトライフ環境を向上させるため、規制当局に対して同じ土俵に立って激しい議論を行う、という姿勢をとっている

背景

2002年、フルンリンクスと呼ばれるオランダの政治政党が、アムステルダムのナイトタイムに関する様々な課題を解決するための手段の一つとして、ナイトメイヤーの設立を検討したことがきっかけ

Night Mayor Office

- 概要: 非営利団体として、ナイトライフに関するあらゆる事項に関して、関連者との対話を実施
- 役割: 行政やナイトライフに関わるあらゆる利害関係者との対話のほか、ナイトライフ関連のイベントに対する助言
- 任期: 3年
- 選任方法: オンライン投票、及び委員会による最終選考
- 現Night Mayor: Shamiro van der Geld (テレビ番組のホスト、俳優、パフォーマー、ライター、ダンサー等の複数の肩書き)
- 前Night Mayor: Mirik Milan (ナイトクラブのプロモーター等の肩書き)
- 財源: アムステルダム政府および民間からの寄付

Night Mayor Summit

- 会議名: Night Mayor Summit 2016
- 主催者: Mirik Milan 及び Nacht Burgemeester Amsterdam
- 会期: 2016年4月22日-23日 (2日間)
- 会議概要: 各国のナイトメイヤーや夜の事業関係者等がネットワーキングや情報交換するための国際会議

関係図



6. 推進の仕組み

推進体制の整備(5/6)-民間主導(アムステルダムにおけるNight Mayorの施策)

- Night Mayorは民間の声を行政に届ける役割を担うほか、世界で初めてナイトメイヤーを創設した都市として、アムステルダムのみならず、世界各都市のナイトタイムエコノミー推進者に対する啓蒙活動に取り組んでいる

NTE関連の 主な取り組み施策	アムステルダム市の課題	Night Mayorが実施した具体事例
24時間営業 許可の取得	<ul style="list-style-type: none">深夜時間帯に営業している店舗が少なく、ナイトタイムエコノミー振興の妨げになっていると考えられていた	<ul style="list-style-type: none">2013年、アムステルダム市長直下の専門家チームの一人として、アムステルダムにおける<u>ホテルやケータリング産業の24時間営業許可</u>に尽力
ナイトメイヤー サミットの開催	<ul style="list-style-type: none">世界初のナイトメイヤーを創設した都市として、世界の各都市にベストプラクティスを共有し、コネクションを構築する責任	<ul style="list-style-type: none">パリ、トゥールーズ、チューリッヒのナイトメイヤーを招聘し、<u>ナイトメイヤーサミット2016を開催</u>海外の各都市でアムステルダムのアンバサダーとして、講演活動を実施
Chicks on a Mission サミットの開催	<ul style="list-style-type: none">アムステルダムにおけるナイトライフは、騒音問題を抱えていたり、暴力等も横行していたことから女性にとって安全ではないという課題を抱えていた	<ul style="list-style-type: none">ナイトタイムにおける女性に対する性差別、<u>アントレプレナーシップ、安全に関する意識向上を目的とした会議を開催</u>し、出席者に対する意識の向上と解決策の検討を実施

出所:「About the Night Mayor of Amsterdam」(Nacht Burgemeester Amsterdam)、ヒアリングを基に作成

6. 推進の仕組み

推進体制の整備(2/6)-行政主導の推進体制(ロンドンの事例)

- ロンドンにおけるナイトタイムエコノミーの推進体制は、大ロンドン庁(GLA)直下のNight Czarが推進主体となっている
- Night Czarは、ナイトタイムエコノミーに関するビジョンの設定や、ビジョン実現のためのロードマップ作成等、**大きな枠組みを定める役割を担っている**

背景 ロンドンにおけるナイトタイムエコノミーは経済的、文化的に大きな影響力を有しているが、若者の飲酒習慣の変化等により、2007年から2016年の間に、50%ものナイトクラブが消滅するなどの状況が続いていた。2016年、サディク・カーンは市長選で、ロンドンの文化的生活の強化を優先事項の一つに挙げ、**Night Czarという役職の創設をマニフェストに掲げ当選した**

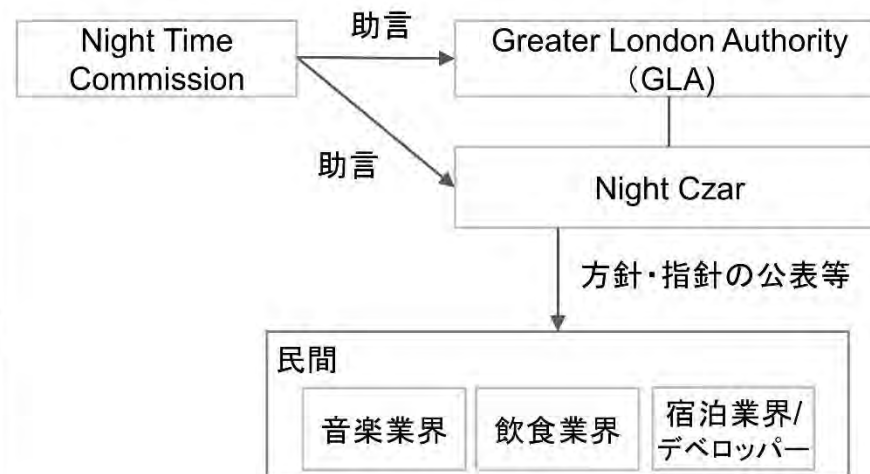
Night Czar

- **概要:**ビジョンの設定や、ビジョン実現のためのロードマップ作成等、**大きな枠組みを定める役割を担う**
- **役割:**
 1. Night Time Commissionと協力し、「24時間活動する都市」というビジョンの設定
 2. ビジョン実現のためのロードマップ策定
 3. 地域の行政と協力し、ロンドンのナイトタイムエコノミーの育成および多様化のための助言活動
- **任期:**1年間(再任あり)
- **選任方法:**希望者はロンドン市へ応募
- **現Night Czar:** Amy Lamé(作家、放送出演者、パフォーマー等の複数の肩書き)
- **財源:** 20,000ポンド(約290万円)

Night Time Commission

- **概要:**ロンドンのナイトタイムエコノミーのビジョンを策定するための諮問機関
- **主なメンバーの属性:**自治体、ロンドン自治体連合、地方自治体協議会、各種ビジネス協会、ディベロッパー、市長公安室、ロンドン警視庁、騒音防止団体 等
- **財源:** 90,000ポンド(1,300万円)

関係図



出所:「MD2023」、「MD1610」(Greater London Authority)、ヒアリングを基に作成

6. 推進の仕組み

推進体制の整備(3/6)-行政主導の推進体制(ロンドンにおけるNight Czarの施策)

- Night Czarは行政組織の一員として、各種調査や憲章の制定など、ナイトタイム振興に必要な基盤作りを推進している
- 官と民、多様な利害関係者の調整役として、横断的な課題に取り組んだことが、解決に結びついている要因である

NTE関連の 主な取り組み施策	ロンドンの課題	Night Czarが実施した具体事例
ナイトタイム エコノミー 関連施設の 経営存続	<ul style="list-style-type: none">● 廃業の危機にある数多くのナイトタイム関連施設を存続させるため、多くの利害関係者を巻き込んで解決策を出すことが必要	<ul style="list-style-type: none">● ステップニー地区に所在する「the George Tavern」というパブに対して、エージェント・オブ・チェンジ*1を適用し、近隣開発を計画するデベロッパーによって当該パブが防音対策に関する負担を強いられないようサポート
ナイトタイム エコノミー 振興に関する 調査の実施	<ul style="list-style-type: none">● ロンドン市内における音楽施設、パブ、LGBT+関連施設の数が増加している現状を鑑み、その実態を把握することが必要	<ul style="list-style-type: none">● <u>ナイトタイム関連施設数や、廃業のリスクが高い施設を明らかにするための調査</u>を実施● 事業税(Business rates)が上昇した場合の音楽施設に対する影響についてまとめた報告書を公表
女性の夜間 安全に配慮 した施策 の策定	<ul style="list-style-type: none">● 女性も安心してナイトタイムを楽しむ環境整備が必要 ※ロンドンにおける性犯罪被害者の9割が女性である	<ul style="list-style-type: none">● 女性が路上や各種施設でより安全に過ごせる環境づくりを行う旨の憲章を制定 ※従業員教育、ハラスメント報告等● ロンドン市で初となる、<u>女性の夜間安全に関するサミット</u>を開催

*1 クラブやライブハウスを騒音苦情から保護する法律

出所:「Amy Lamé publishes guidance to protect night-time economy and culture」(Greater London Authority)を基に作成